

野沢南高校の存続を求める決議

長野県教育委員会は6月24日に高等学校再編整備案として、野沢南高校の全日制・定時制を廃止して、多部制・単位制とする案を突然発表しました。その理由として、野沢南高校が最寄り駅から徒歩15分の距離にあり、交通の便がよいこと、夜間定時制の給食設備をそのまま多部制・単位制高校に使用できることが挙げられました。

私たち野沢南高校全日制生徒会は、このような候補として本校の名前があがったことにとっても驚きました。そしてとても悲しく感じました。私たちは、野沢南高校に入学し、高校生活をよりよいものとするため、授業だけでなく、放課後のクラブ活動や伝統ある鈴蘭祭をはじめとする生徒会活動に懸命に取り組んできました。しかし、多部制・単位制になった場合は、放課後の時間がなくなったり、施設が授業で使われたりするために、現在のようなクラブ活動ができにくくなり、活動が制限されることが考えられます。また、生徒の登下校の時間や、学校にいる時間が生徒一人一人によってまちまちになるため、今までのような全校一体となった文化祭を行うことは難しくなることも予想されます。

ですから、この多部制・単位制は仮に「野沢南高校」という名前だけは残っても、中身は全く別の高校になってしまうことを意味していると思います。このような重要な問題が当事者である私たちや先生方、地域の方の意見を全く聞かずに提出されたことは残念でなりません。本校を多部制・単位制とする理由も到底納得のいくものではありません。

私たちは100年にもなる長い伝統をもった野沢南高校に入学し、この学校で勉学やクラブ活動に励み、本校の卒業生としてやがて社会で活躍することを誇りに思いますし、多くの先輩方も同じ思いでいることでしょう。私たちは現在の野沢南高校での学校生活を、今後入学してくる生徒たちに残したいと思います。

以上のことから以下のことを決議し、関係する方に強く要求します。

特別決議

野沢南高校を今まで通りの全日制普通科・夜間定時制普通科の高校として残すことを求めます。

平成17年9月22日

長野県野沢南高等学校生徒会